

【様式1】

令和7年度事務事業評価（事後評価）  
（令和6年度実施事業）

(令和6年度実施事業)						課コード	1202	事業番号	01		
事業の概要 (Plan:計画)											
部局室名	建設部	課所名	道路建設課	担当名	吉川	連絡先	3526	事業開始年度	R6	事業終期年度	-
事業名	自転車通行環境整備事業			事業の実施方法	業務委託		事業の分類①	法令等に基づき義務付けられている事務			
							事業の分類②	建設整備			
根拠法令	越谷市道路の構造の技術的基準等を定める条例9条の2										
事業内容	歩行者や自転車安全に通行できる空間の創出を図ることを目的に、既に整備された都市計画道路や歩道のある幹線道路等を基本に、自転車通行環境の整備を行う。										

事業の実施（Do：実施）										
			令和5年度 決算		令和6年度 当初予算		令和6年度 決算		令和7年度 当初予算	
			人工	人件費	人工	人件費	人工	人件費	人工	人件費
事業費等	人件費	①常勤職員		0	0.13	1,092,000	0.13	1,105,000	0.15	1,290,000
		②会計年度任用職員		0		0		0		0
		合計A（①＋②）	0.00	0	0.13	1,092,000	0.13	1,105,000	0.15	1,290,000
	事業費内訳	①国・県支出金								
		②市債								
		③その他の財源					1,100,000			
		④一般財源			6,000,000		3,245,000		3,800,000	
		合計B（①～④）	0		6,000,000		4,345,000		3,800,000	
	総事業費合計（A+B）		0		7,092,000		5,450,000		5,090,000	
	事業費が増減した理由		R6年度当初と決算の減については入札によるもの。また、R6年度は基礎調査業務委託、R7年度は設計業務委託を行っているため事業費の増減が生じている。							
成果	成果指標	-					R4年度	R5年度	R6年度	達成度
	成果指標の説明	自転車通行環境整備については、既存道路本体の整備（舗装の打替えなど）と連携して進める必要があり、単独事業として指標の設定が困難である。				目標				
				実績						
事業の実績	令和6年度は越谷市自転車通行環境整備基礎調査業務委託を行った。									

事業の評価（Check：見直し）					
評価の視点		評価	評価内容の説明		
必要性	社会的なニーズ	○	越谷市道路の構造の技術的基準等を定める条例9条の2に位置付けられており、地方公共団体として取り組むべき事業である。	委託化の可能性	一部あり
	市が実施すべき妥当性	○		委託可能な範囲	基礎調査業務、設計業務、整備
	民間との連携	-		他市事例	あり   埼玉県、さいたま
有効性	事業目的達成への繋がり	○	自転車利用のニーズが一段と高まる中、歩行者や自転車が安全に通行するために十分な効果が見込まれる。		
	事業見直しの必要性	-			
	ニーズの傾向	○			
効率性	活動量の成果	○			
	将来コストの見込み	-			
	受益者負担の適正度	-			
外部評価・包括外部監査の指摘（概要）		-			
上記に対する措置等		-			
事業を実施した上での課題等		事業を進めるには、既存道路本体の整備（舗装の打替えなど）と連携して進める必要がある。			
総合評価		A（事業内容は適切である）			
総合評価の説明		越谷市道路の構造の技術的基準等を定める条例9条の2に位置付けられており、地方自治体として積極的に牽引すべき事業である。また、自転車利用のニーズが高まりや埼玉県やさいたま市など多数の自治体で積極的に取り組んでいることから十分な効果が見込まれるため。			

今後の方向性（Action:改革改善）		
今後の方向性	現状のまま継続	
次年度の取組内容	令和7年度は、整備に向けて設計業務委託を行う。	
外部有識者の意見を取り入れる意向	なし	